

環境教育関係事業について (平成 24 年度実施結果及び今後の予定)

環境教育を進める取り組みの柱

札幌市環境教育基本方針で定めた 4 つの取り組みの柱

- (1) 人材の育成
- (2) 情報の共有・活用
- (3) プログラムの作成
- (4) 機会づくり・場づくり

(1) 人材の育成

◆札幌市教育センターにおける研修

札幌市教育センターでは、札幌市の学校教育に携わる教職員の資質向上と専門的な力量を高めることを目的にした研修を実施しており、その研修の中で「教育課題研修コース（環境教育Ⅰ～Ⅲ）」や「初任者研修（環境教育の基礎）」といった、環境教育に関する専門的研修コースを設け、学校における環境教育の実践を推進するための教員研修を実施しています。

平成 24 年度は、環境プラザにおいて「環境教育に役立つ施設の活用」として教職員を対象とした研修を実施しました。

◆環境教育リーダー・環境保全アドバイザー派遣

「総合的な学習の時間」や市民の環境に関する学習会などへの助言や解説等を行う人材を派遣する「環境教育リーダー制度」と、「環境全般」、「都市と環境」、「消費生活と環境」、「水辺の環境」、「自然観察・自然保護」、「アイヌ文化と環境」、「外国の環境保全」、「環境教育」の 8 つの分野の専門家を、市民の観察会や学習会等に派遣する「環境保全アドバイザー制度」を実施しています。

【派遣実績（件数） ※（ ）内は参加人数】

	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
環境教育リーダー <登録者数 30 人>	44 件 (2311 人)	55 件 (2415 人)	74 件 ※ (3717 人)	101 件 ※ (5620 人)
環境保全アドバイザー <登録者数 19 人>	26 件 (2024 人)	37 件 (2087 人)	33 件 ※ (2498 人)	36 件 ※ (2321 人)

※ 平成 25 年 2 月末現在

◆札幌市環境プラザにおけるリーダー育成

(1) こどもエコクラブ

平成 22 年度から、環境プラザが「こどもエコクラブ」を設立して活動を行なっています。子どもたちが、さまざまな場において環境リーダーとなって活躍することを目指しています。

平成 24 年度は全 20 回の活動で、子どもたちの環境学習をサポートしました。また、10 回以上活動に参加することができた子どもたちに「ジュニアエコリーダー」の認定証を交付しました。

(2) 市民講座の開催

「コンセプトのつくりかた」として、環境プラザにおいて講演会を開催しました。あらゆる活動の原点となる「コンセプト」テーマとして、環境活動等を始めようとしている方、また、リーダーとして活動を行なう方を育成することを目指します。

◆環境に関する学習活動・研究実践校（モデル5校）

環境をテーマにした先進的な取組（例：評価に位置づけた環境をテーマにした学習活動、地域の環境を活用した学校独自の特色を生かした学習活動、児童会・生徒会・地域の保護者を活用した学習活動等）を各モデル校が実践研究を行い、その成果を各学校に普及啓発していきます。

◆エネルギーに関する環境教育の推進（※一部報告済）

学校においてエネルギーや CO₂ について体感し、学び考えることができる設備整備（見える化）を行っています。この設備を活用し、子どもたちのエネルギーに関する意識を醸成し、自発的に行動できる人材を育成することを目的としてほかに、子どもたちから家庭へ、また、将来的に学校との連携により地域へ、省エネ意識・省エネ行動等、環境配慮行動の波及につながることを目指しています。

24年度に新たに1校の設備整備を行いました。

平成23年度整備校：札幌市立百合が原小学校（北区）

平成24年度整備校：札幌市立平岸中学校（豊平区）

今後の予定

教育委員会と連携して、教育センターにおける教員に対する環境教育に関する研修を実施していくとともに、環境プラザにおける教員を対象とした研修を引き続き行います。

また、環境プラザの「こどもエコクラブ」の活動は25年度も継続し、さらに市民を対象とした様々な講座を行うことで、人材の育成を行います。

エネルギーに関する環境教育の推進については、25年度に新たに1校の設備整備を行います。整備校における「見える化」設備の活用を踏まえ、エネルギー学習を他校へ拡大していきます。

(2) 情報の共有・活用

◆環境プラザホームページ

ブログで積極的に情報を提供するなど、環境プラザホームページを利用して情報提供を行っています。H24年6月からは、環境プラザが行なっている環境に関する相談事例の掲載を始めました。この相談事例の紹介にあわせて、関連資料や情報の紹介を行なっています。

◆かんきょう元気新聞・元気通信（※一部報告済）

子どもたちにとって環境に関する身近な情報を分かりやすく掲載することで「気づき」と「行動」を促すため「かんきょう元気新聞」を発行しています。

平成24年度は、7月に第10号（夏号）を「節電」をテーマとして、平成25年1月末に、第

11号(冬号)を「さっぽろこども環境コンテスト2012」をテーマとして、年2回発行しました。

※ 配布対象：札幌市立小学校・中学校の全クラス

◆環境教育関連施設連携事業の実施

市内の環境関連施設の施設担当者から成るプロジェクトにおいて、情報を共有・活用するとともに、より効果的な環境教育を行うため、環境プラザを中心として施設間の連携を進めています。

また、平成24年度は「秋のエコ教室：親子でまるごと鮭体験」として、札幌市環境プラザと札幌市豊平川サケ科学館の連携事業などを行いました。

今後の予定

子どもたちの環境への意識をさらに高めることができるよう「かんきょう元気新聞」の内容の充実を図るとともに、環境プラザのホームページやブログを活用し、効果的な情報提供を行います。

(3) プログラムの作成

◆総合的環境副教材・教師用手引書

小学生を対象に配布している「札幌市総合的環境副教材」について、「教師用手引書」とともに平成25年度配布版として改訂を行い各学校に配布しました。

この「札幌市総合的環境副教材」は「教育課程編成の手引き」(札幌市教育委員会作成)に参考とする資料として引用されています。

また、この札幌市総合的環境副教材について活用状況の把握を行い、今後の改訂を行なう際の参考とするため、小学校の教員を対象として、平成25年3月にアンケート調査を実施しております。

◆環境プラザにおける学習プログラム

環境プラザの環境教育教材を活用した学習プログラムの作成について検討を進めています。

今後の予定

総合的環境副教材について、アンケート結果を参考に、平成26年度配布版の作成に向け学校において活用しやすい副教材を目指して検討を行ないます。

また、環境教育教材を活用した学習プログラムを環境プラザの事業で実施するほか、環境プラザにおいて、学校の総合学習に応じたオリジナルプログラムの一層の充実を図ります。

◆エネルギー・環境に関する指導資料

札幌市や我が国の現状を踏まえ、エネルギーや環境について、各学校において系統的な指導を行うことができるよう指導資料を作成しました。この指導資料を各学校において活用することで、子どもが、エネルギー・環境について、事実に基づいて正しく理解するとともに、持続可能な社会の構築という視点から、自ら考え、判断し、表現する力を身に付けるように考えております。

(4) 機会づくり・場づくり

◆校外学習用バス貸出（※一部報告済）

環境に関する体験学習の場を提供することを目的に、市内小中学校を対象に環境教育に関する校外学習用バスの貸出事業を行っています。

今年度は、のべ61校に133台のバス貸出を実施しました。

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
応募校数	71校	77校	71校	107校	129校	114校
利用校数	43校	54校	69校	88校	70校	61校
バス利用台数	94台	115台	152台	184台	153台	133台

※ 校数・バス利用台数はのべ数

※ 平成19年度事業開始。平成21年度から対象を中学校も対象。

<主な見学先（平成24年度）>

見学先	見学校数（のべ）
水道記念館（藻岩浄水場含む）	28
中沼リサイクル団地	16
発寒清掃工場	12
白石清掃工場	11
定山溪ダム（資料館含む）	11
駒岡清掃工場	8
円山動物園	5
モエレ沼公園	5
下水道科学館	3
サッポロピリカコタン	3
豊平峡ダム	3

◆環境教育へのクリック募金

インターネットを活用した環境教育への支援制度として、環境プラザのホームページに「環境教育へのクリック募金」サイトを平成17年5月から設けています。

この制度は、環境保全活動に取り組む企業から寄附を募り、札幌の子どもたちのための環境教育資金とする企業の社会貢献活動の仕組みです。

平成24年度は、49の小中学校に、小型光電池や手回し発電機などの環境教育教材を寄贈しました。（現在の協力企業は8社）

◆環境プラザにおける総合学習支援等

環境教育リーダーの派遣や環境プラザの展示物を活用し、小中学校の総合学習の時間における学習の支援を行いました。

また、出前講座「環境プラザがやってきた」では、さまざまな環境イベントにおいて、体験学

習を行いました。(水道展 2012、環境広場さっぽろ、下水道科学館フェスタ 2012、東区児童会館まつりなど)

さらに、環境に関する講演会や市民活動団体と連携した事業を実施しています。

◆かんきょうみらいカップ 2012

サッカーなどのスポーツ・レクリエーションを通じて、環境活動に楽しく取り組んでもらうことを目的として「かんきょうみらいカップ 2012」を開催しました。

サッカーや環境クイズ、リレーゲームのほか、参加した子ども達が、環境について体験したこと、今取り組んでいることを「環境体験・活動カード」に記載することにより、環境への意識を高め、自主的な行動へとつなぐ機会としています。

また、当日高得点を獲得した上位 8 チームは、11 月 17 日の「コンサドーレ札幌 対 サガン鳥栖」(札幌ドーム) のカーテンレザーマッチに出場しました。

日時・場所：7 月 26 日 (木) 札幌サッカーアミューズメントパーク

参加人数：約 480 人 (64 チーム)

◆さっぽろこども環境コンテスト

小中学生の環境活動を発表する「さっぽろこども環境コンテスト 2012」を、平成 24 年 12 月 1 日 (土) に開催しました。

[審査員]

審査員長	北海道大学大学院教育学研究院 教授	大野 栄三 氏
審査員	北海道札幌旭丘高等学校 校長	守屋 開 氏
審査員	丸山環境教育事務所 代表	丸山 博子 氏
審査員	札幌市環境局環境都市推進部長	宮佐 直紀

[発表団体]

小学生の部	中学生の部
札幌市立清田小学校	札幌市立厚別南中学校
○札幌市立北光小学校	◎札幌市立定山溪中学校
札幌市立西白石小学校	○札幌市立平岸中学校生徒会
札幌市立藻岩小学校	藤女子中学校 3 年有志
◎札幌市立百合が原小学校	札幌市立宮の森中学校

◎：最優秀賞受賞団体

○：優秀賞受賞団体

今後の予定

既存事業を見直しながら、次世代を担う子どもたちの環境活動の実践に向け、より効果的な機会づくり・場づくりを図るなど、環境教育の取組をより一層充実させていきます。